



# ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



## 【3月の市況ダイジェスト】

3月のドバイ金融市場総合指数は-4.7%、アブダビ証券取引所株式指数は-2.2%、ナスダック・ドバイUAE20指数（外国人向け市場）は-4.7%となりました。一方、通貨ディルハムは、3月末で22.42円（投信協会発表値）と、前月末比で1.9%のディルハム高・円安となりました。

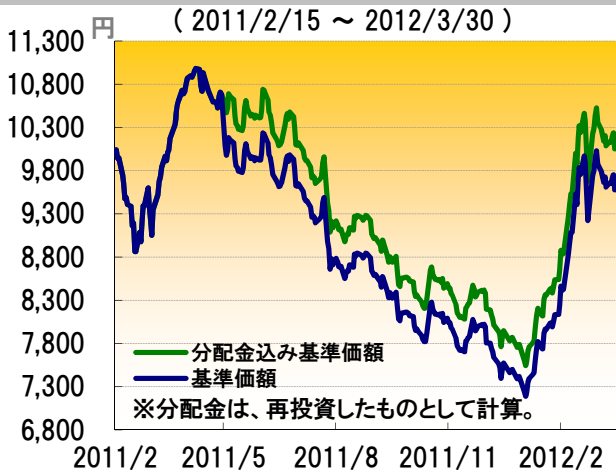
## 商品概要

### 商品概要

|      |   |
|------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式   |
| 投資対象 | アラブ首長国連邦の取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているアラブ首長国連邦関連企業の株式を主要投資対象とします。 |
| 設定日  | 2011年2月15日  |
| 信託期間 | 2011年2月15日から2021年2月15日まで  |
| 決算日  | 原則として年4回。毎年2月14日、5月14日、8月14日、11月14日（休業日の場合は翌営業日）                        |

## 基準価額・純資産総額の推移等

### 基準価額の推移（設定来）



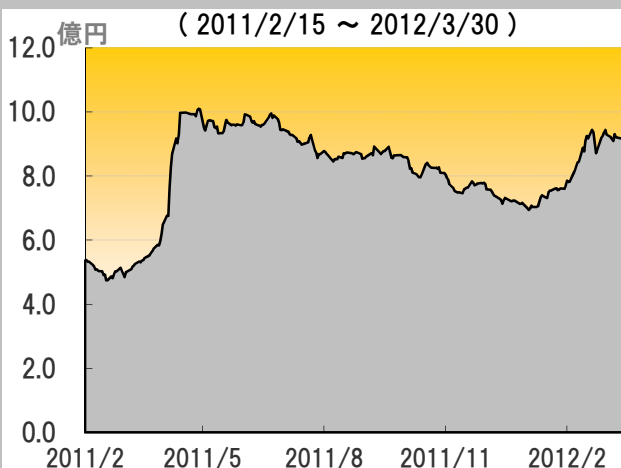
### ファンドの現状（2012/3/30）

|       |        |
|-------|--------|
| 基準価額  | 9,578円 |
| 前月末比  | -121円  |
| 純資産総額 | 9.1億円  |
| 前月末比  | +0.0億円 |

### 分配実績（1万口あたり、税引き前）

|     |             |      |
|-----|-------------|------|
| 第1期 | 2011年5月16日  | 500円 |
| 第2期 | 2011年8月15日  | 0円   |
| 第3期 | 2011年11月14日 | 0円   |
| 第4期 | 2012年2月14日  | 0円   |
|     |             |      |
|     |             |      |

### 純資産総額の推移（設定来）



### 運用実績

|     |       |
|-----|-------|
| 期間  | 騰落率   |
| 1ヵ月 | -1.2% |
| 3ヵ月 | 26.5% |
| 6ヵ月 | 15.0% |
| 1年  | —     |
| 設定来 | 0.5%  |

※分配金は再投資したものと計算しています。

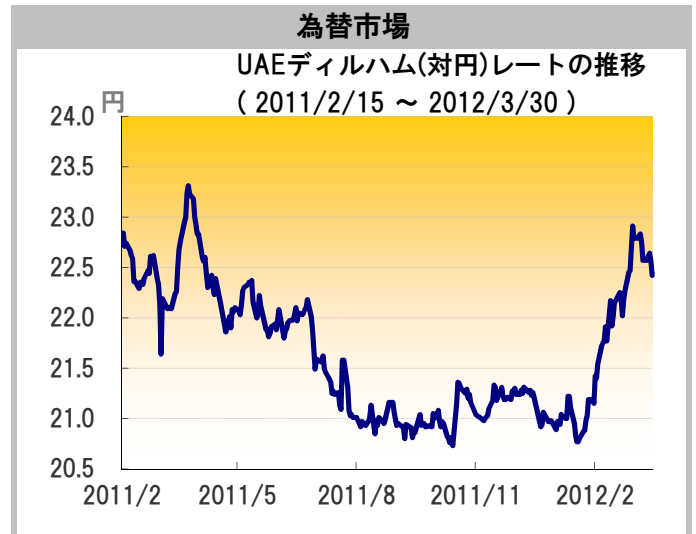
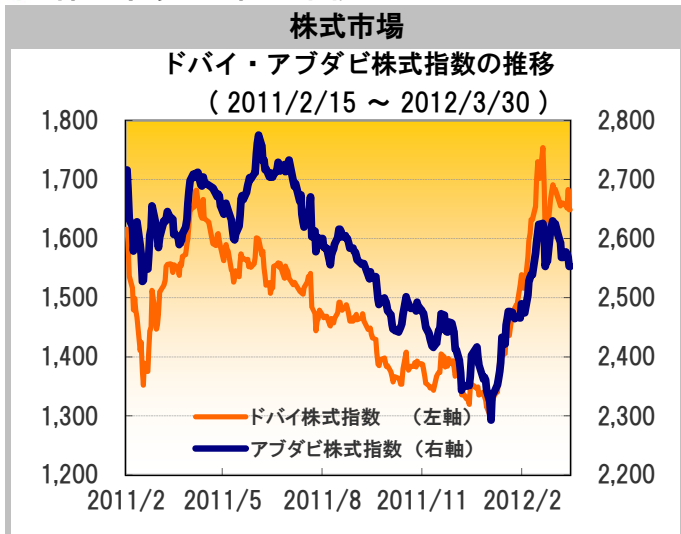


# ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



## 株式市場と為替の推移



## 運用状況

| 資産別組入状況 |   | 投資比率    |
|---------|---|---------|
| 株       | 式 | 95.7 %  |
| 債       | 券 | 0.0 %   |
| 現金・その他  |   | 4.3 %   |
| 合計      |   | 100.0 % |

| 業種構成 |  | 構成比率    |
|------|--|---------|
| 銀行   |  | 35.1 %  |
| 運輸   |  | 23.9 %  |
| 不動産  |  | 15.1 %  |
| 保険   |  | 6.1 %   |
| 各種金融 |  | 5.8 %   |
| その他  |  | 9.7 %   |
| 現金   |  | 4.3 %   |
| 合計   |  | 100.0 % |

|       |    |
|-------|----|
| 組入銘柄数 | 18 |
|-------|----|

| 組入上位5銘柄      |     |        |
|--------------|-----|--------|
|              | 業種  | 対純資産比率 |
| DPワールド       | 運輸  | 16.4 % |
| 第一湾岸銀行       | 銀行  | 10.1 % |
| エマール不動産      | 不動産 | 7.9 %  |
| アブダビ商業銀行     | 銀行  | 7.7 %  |
| ユニオン・ナショナル銀行 | 銀行  | 7.2 %  |
| 合計           |     | 49.3 % |



## ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



## ■エマージング市場：中国、ユーロ圏の景気鈍化見通しから軟調な展開に。

3月の新興国市場は概ね軟調な動きとなりました。新興国株式市場の動きを表すMSCIエマージング指数は、3月末1041.45と前月末比3.5%の下落となりました。

9日にギリシャの債務再編が実施されるにあたって不安要素が残ること、昨年第4四半期のユーロ圏経済がマイナス成長となったこともあり、月初は、5日に今年最大の下げとなった米国株式を始め、エマージング指数も大きく値を下げました。その後、ギリシャの債務交換が大きな混乱もなく終了すると、雇用情勢、製造業や消費に関する良好な指標が相次いだ米国の株式市場は反転上昇していますが、新興国では、中国の経済成長目標の引下げや欧州景気の鈍化懸念などを弱材料に2月までの上昇スピードが速かったこともあり、その後は大きく下げています。

なお、新興国各国においても、景気失速への対策として金融緩和策がとられています。ブラジルでは7日に0.75%、ベトナムで13日に1.0%の利下げが行われました。

## ■ドバイ・アブダビ株式市場：地政学的リスク等により、上値の重い展開。

ドバイ金融市場総合指数は3月末で1,648.87と前月末比-4.7%、アブダビ証券取引所株式指数は2,553.00で同-2.2%、ナスダック・ドバイUAE20指数(外国人向け市場)は1,682.30で同-4.7%となりました。一方、通貨ディルハムは、3月末で22.42円(投信協会発表値)と、前月末比で1.9%のディルハム高・円安となりました。

月初は2月の株価上昇の流れをそのまま引継ぐかに見えましたが、6日に「イランで、核兵器に用いられる高性能爆薬の実験を行った疑いがある」と報道されたことにより、地政学的リスクが意識され、株式市場は大幅に売られる展開となりました。その後、イランが国連安全保障理事会5常任理事国にドイツを加えた6カ国からの核疑惑施設の立入り要請を受入れたことから、株価は一時戻したものの、元の高値まで戻らず上値の重い展開となっています。

また、ドバイ・アブダビ株式市場に大きな影響を及ぼす原油価格は、欧州債務問題の沈静化や良好な米国経済指標を受けて、年初来2月までに100ドル台から110ドル台まで上昇しましたが、3月に入ると100ドル台前半に戻しています。

なお、ドバイ・アブダビ市場では、リーマン・ショック以降、出来高・売買代金が減少傾向にありましたが、今年に入って急激に増加しています。3月、ドバイ市場では、2011年の平均月間出来高の4.0倍、アブダビ市場では1.7倍となっています。このように出来高を伴っての株価上昇は、今後の同市場にとって良い現象であるように考えられます。

## ■経済トピックス

【2012年GDP成長率予測】IMFが下方修正、政府はインフラ整備事業拡大の意向。

IMFはUAE(アラブ首長国連邦)の2012年の実質GDP成長率見通しについて下方修正を行いました。2011年9月時点では3.8%と予想されていましたが、そこから1.5%ポイント引下げ2.3%としました。また、2012年のインフレ率についても2.5%から1.5%程度へと引き下げを行っています。

なお、2011年の経済成長率は3.3%となり、アナリスト予想(3.9%)よりは低いペースではあるものの前年比で倍以上の成長ペースを記録しました。また、政府は向こう3年間で16億ドルを投資し、北部の飲料水・電力ネットワーク整備事業を拡大するとしています。

【ドバイの観光】2011年のホテル宿泊者数が前年比+10%。

ドバイ観光当局によると、2011年のホテル宿泊者数は前年比10%増の930万人を記録しました。滞在日数は同23%増の3,284万8,190日、売上は同20%増の160億ディルハム(約3,520億円)に達しています。

【非石油部門の輸出額】前年比22%増

アラブ首長国連邦関税庁(FCA)によると、2011年1-10月の非石油部門の輸出額は、前年比+22%の7,598億(約15兆7,915億円)ディルハムとなりました。一方、輸入額は同24%増の4,938億ディルハムとなりました。



## ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式



### ◆ ファンドの特色

#### 【運用プロセス】

■アラブ首長国連邦株式の中から比較的割安で投資魅力度の高い銘柄への投資に注力し、分散投資されたポートフォリオを構築することを目指します。

■トップダウン分析とボトムアップ分析を組み合わせたアプローチを用います。

・トップダウン分析ではマクロ経済動向および政治情勢等の見通しについて検討し、投資判断に活かします。

・ボトムアップ分析ではPER(株価収益率)などの指標分析やその他情報等を参考にして銘柄の配分を決定します。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。

### ◆ ファンドに係わるリスクについて

以下に掲げるリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

#### 株式の価格変動リスク

当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### 為替変動リスク

当ファンドは、主にUAEディルハム建ての株式に投資します(ただし、これに限定されるものではありません)。投資している通貨が円に対して強く(円安に)なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### カントリーリスク

海外の株式に投資する場合には、投資対象国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### 信用リスク

株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

#### 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

#### 資金移動に係わるリスク

当ファンドの主要投資対象国であるアラブ首長国連邦政府当局が資金移動の規制政策等を導入した場合、一部解約、償還等の支払資金の国内への回金が滞ることがあります。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。



ドバイ・アブダビ株ファンド  
追加型投信/海外/株式

月次レポート



◆ お客様にご負担いただく費用

①お申込時に直接ご負担いただく費用

■申込手数料:申込日の翌営業日の基準価額に対して**上限3.15%(税抜3.0%)**

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■信託財産留保額:解約請求日の翌営業日の基準価額に対して**0.3%**

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■信託報酬:信託財産の純資産総額に対して**年率1.533%(税抜1.46%)**

■その他費用:有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用(手数料等)の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することが出来ません。

※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

- 1.当ファンドは、海外の株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。
- 2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。
- 4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

◆ 委託会社その他関係法人の概要

■委託会社: 信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者関東財務局長(金商)第383号  
加入協会社団法人投資信託協会/ 社団法人日本証券投資顧問業協会

■受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

住友信託銀行株式会社(2012年4月1日より、三井住友信託銀行株式会社)

■販売会社

| 販売会社      | 登録番号                      | 加入協会                    |
|-----------|---------------------------|-------------------------|
| 安藤証券株式会社  | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商) 第1号   | 日本証券業協会<br>(社)金融先物取引業協会 |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第44号  | 日本証券業協会<br>(社)金融先物取引業協会 |
| 楽天証券株式会社  | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第195号 | 日本証券業協会<br>(社)金融先物取引業協会 |

※金融先物取引業協会は、2012年4月1日より、一般社団法人となります。